

ver. 1.2



# Solar Link ZERO-T2 SUI / STA



株式会社 ラプラス・システム http://www.lapsys.co.jp/

# 目次

1	用意するもの	1
2	事前準備	2
3	設定ツール画面の起動・終了	3
4	変更内容の反映	4
5	画面の設定変更	5
6	計測機器の設定変更	10
7	ネットワークに関する設定	13
8	設定用パスワードの変更	16
9	蓄電池情報の表示	17

### 改訂履歴

バージョン	内容	発行日
1.0	起草	2016.02.02
1.1	表紙の商品名とバージョン番号を修正。P.13の画像変更	2016.03.14
1.2	無線 LAN の設定について追記、売買電力量表示の注意書きを追記	2016.05.17
1.2	誤記修正	2016.06.29

# 1 用意するもの

### □ Windows PC

- ※ 対応 OS: Windows 7/10。
- ※ 持ち運びしやすいノート PC を推奨します。
- ※ 事前に Adobe Acrobat Reader のインストールをお願いします。 設定変更用 USB メモリ内のプログラムを使い、設定変更を行うために 使用します。



CHECK!

※ Windows PC は必須です!

□設定変更用 USB メモリ(以下、付属の USB メモリ)



# 2 事前準備

CHECK!

ZERO 本体が停止中には計測されません。作業をする時間は、太陽が出ていない時間など、 太陽光発電システムの計測に支障のない時間帯を推奨します。

### 2.1 設定情報のバックアップ

### 設定変更を行う前に、付属の USB メモリに保存されている全てのファイルやフォルダのバックアッ プを取ります。

- 1. USB メモリを Windows PC に挿入します。
- 2. USB メモリ内の全てのデータを選択してコピーし、Windows PC のデスクトップに作成した任意のフォルダなど の中に貼り付けます。
  - ※ USB メモリ内のデータを「切り取り」や「移動」で削除しないようにご注意ください。
  - ※ 各ファイル名の表示の違いは、お使いの Windows PC の「フォルダー オプション」の設定に依存しています。





# 3 設定ツール画面の起動・終了

ZERO の各種設定変更は、設定ツール画面で行います。

- 1. Windows PC に付属の USB メモリを挿入します。
- 2. USB メモリ内の「conf」または「conf.exe」をダブルクリックします。

名前	更新日時	種類	[	名前	更新日時	種類
🔰 dat	2015/12/02 9:09	ファイルフォ		퉬 dat	2015/12/02 9:09	ファイルフ
🎉 log	2015/12/02 9:09	ファイルフォ		鷆 log	2015/12/02 9:09	ファイルフ
setting	2015/12/04 15:22	ファイルフォ	または	퉬 setting	2015/12/04 15:22	ファイルフ
conf.ENU	2015/11/19 17:09	ENU ファイ)	0.7210.	conf.ENU	2015/11/19 17:09	ENU ファイ
📑 conf.exe	2015/11/27 15:26	アプリケーシ		🗐 conf	2015/11/27 15:26	アプリケー
contents_01.jpg	2015/09/30 19:03	JPEG イメー		contents_01	2015/09/30 19:03	JPEG イメ-
Contents 02 ing	2015/00/20 10:02	IDEC / V-		Contents 02	2015/00/20 10:02	IDEC /

- ※ 各ファイル名の表示の違いは、お使いの Windows PC の「フォルダー オプション」の設定に依存しています。
- 3. 設定ツール画面が開きます。メニューバーの各メニューから必要な設定を行います。 ※赤文字の名称および数値のクリックでも、各種の設定画面を表示することができます。 ※各種設定については P.5 以降をご確認ください。
- 4. 設定が完了したら、「ファイル」メニューの「終了」をクリックするか、画面右上の「×」をクリックして設定ツー ル画面を閉じます。

ファイル(工) 計測関係設定(U) 表示関係設定(	(⊻) 報告書設定(⊻) ネットワーク設定(X) その他設立	E( <u>Z</u> )
計測方法	- 計測機器-   485/232C通信   系統数  1	
計測問題 6 秒 平均個数 10 個	1系統目         DEMO         台数           2系統目         台数	t 1 t
表示画面 計測画面 標準A コンテンツ 1枚目 contents_04.jpg 2枚目 contents_05.jpg	3系統日     音频       TCP/P通信     台数       画面切替     表示パターン 計測画面+換算画面	ţ
3枚目 photo_01.jpg 4枚目 5枚目	守(a)//more (a)         10         15           設備常量         10.0         kW         計算要素 交流	
グラフ 軸題 電力量 最大レンジ 3000 kWh		

設定ツール画面

画面上に現在の設定内容が表示されています。

# 4 変更内容の反映

付属の USB メモリ内の設定ツール画面で設定変更を行った後は、設定内容を ZERO へ反映させる必要 があります。

1. ZERO 本体に付属の USB メモリを挿入し、ZERO 本体を起動(または再起動)します。 (起動中に設定内容が読み込まれます)

[ZERO が動作中の場合]:ZERO の本体左側面の白いボタンを3秒程度長押しして離し、再起動します。 [ZERO の電源が入っていない場合]:ZERO に専用 AC アダプタを接続し、起動します。

2. "1."の操作後、1分ほどで起動(または再起動)が完了します。LEDの状態より通信が成功しているか確認します。

【通信が成功しているときの LED の状態】

ST1	消灯	消灯
ST2		計測時に点滅
PW	戊点	点灯

- 3. パワーコンディショナが複数台接続されている場合は、Webアプリ機能(別紙:「取扱説明書」参照)を 使用して、接続する全てのパワーコンディショナの計測データが受信できているか確認します。
- 4. ZERO本体に接続されているディスプレイを確認できる場合は、画面が正常に表示されていることを確認します。
- 5. USB メモリを取り外します。





設定変更後、付属の USB メモリ内の全てのデータのバックアップを取っておいてください。

## 5 画面の設定変更

設定ツール画面の「表示関係設定」メニューでは、下記の設定変更を行うことができます。

- 5.1 画面テイストの変更
- 5.2 表示・非表示の切替(日射・気温、CO2 換算値、異常アイコン)
- 5.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更
- 5.4 コンテンツ画面の入替・追加
- 5.5 グラフ画面の変更

### 5.1 画面テイストの変更

画面のテイストを7種類から選択することができます。

- 1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 2. タイプ選択の中からデザインを選択します。
- サンプル画像をクリックしてプレビュー画面を表示 して、設定内容を確認します (プレビュー画面は再度クリックすると閉じます)。
   ※ プレビュー画面にはチェックボックス(赤線枠内)の 設定も反映されます。
- 変更を保存する場合は OK を、
   変更を保存しない場合は Cancel で画面を閉じます。





ブルー



グリーン



コルク



### 5.2 表示・非表示の切替

#### ◆日射・気温

#### 「計測画面」に、「現在の日差しの強さ」「現在の気温」を表示するかどうかの設定です。

	<ul> <li>日射強度・気温を計測していない場合には、データ表示することができません。</li> <li>日射強度・気温の計測が行われている場合、「日射・気温表示」のチェックを外していても、</li> </ul>	
	1分値タイフの LSV ファイルに値か保存されます。	
CHECK!	→別紙:「取扱説明書」参照	

- 1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 【表示させる場合】日射・気温表示にチェックを入れます。
   【表示させない場合】日射・気温表示のチェックを外します。
- サンプル画像をクリックしてプレビュー画面を表示させ、 設定した内容を確認します。
   (プレビュー画面は再度クリックすると閉じます)
- 変更を保存する場合は OK を、
   変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

#### ♦ CO2 換算値

「換算画面」の表示項目を、「先月の CO2 削減量はクスノキ〇〇本分」とするか、 「先月の発電電力量」とするかの設定です。前者にする場合は、CO2 換算係数も設定できます。

#### ●「先月の CO2 削減量はクスノキ○○本分」と表示させる場合

- 1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 2. CO2 換算値表示にチェックを入れ、OK をクリックします。
- 3. 表示関係設定メニューの CO2 換算係数をクリックします。
- 4. 二酸化炭素係数を入力します。



先月の CO2 削減量はクスノキ〇〇本分 =



※ クスノキ換算表示は、クスノキ1本の1ヶ月のCO2吸収量を53kg-CO2としたものです。
 ※ 二酸化炭素係数の初期値:0.579(kg-CO2/kWh)は、平成18年経済産業省・環境省令第3号第2条第4項に基づく実排出係数及び代替値の平成26年度版です。

例:「先月の CO2 削減量はクスノキ〇〇本分」項目の計算式:

先月の発電電力量 (kWh) × 設定した二酸化炭素係数

表示画面

計測面面

タイブ選折 © 標準A C 標準B

○ 標準C

C ブルー C グリーン

C コルク

☑ 日射·気温表示

蓄電池表示

面面数

☑ CO2換管値表示

□ 売買電力量表示

ファイル

☑ 異常表示

□ 消費電力量表示

53 (kg-CO<sub>2</sub>)

変更を保存する場合は OK を、
 変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

#### ●「先月の発電電力量」と表示させる場合

- 1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 2. CO2 換算値表示のチェックを外します。
- 3. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

◆異常表示

「計測画面」に、異常を知らせるアイコンを表示するかどうかの設定です。パワーコンディショナの 異常時には「パワコン異常」アイコン、系統異常時には「系統異常」アイコンが表示されます。

- 1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 【表示させる場合】異常表示にチェックを入れます。
   【表示させない場合】異常表示のチェックを外します。
- サンプル画像をクリックしてプレビュー画面を表示させ、
   設定した内容を確認します。
   (プレビュー画面は再度クリックすると閉じます)
- 変更を保存する場合は OK を、
   変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

計測画面	タイプ選択 © 標準B C 標準B C 標準C C 標準D C ブルー C ブルー C ブルー C コルク	7/42-161	1000000000000000000000000000000000000
	☑ 日射·気温表示	☞ CO2換算値表示	☑ 異常表示
	□ 蓄電池表示	□ 売買電力量表示	匚 消費電力量表;
	画面数 No.	ファイル	

▶蕃電池表示・売買電力量表示・消費電力量表示 「計測画面」に、蓄電池、売買電力量、消費電力量を表示するかどうかの設定です。



 ・ 蓄電池情報の表示を行う場合は「9. 蓄電池情報の表示(P.17)」を参照してください。

 ・ 売買電力量、消費電力量の表示には表示切替のほか、別途設定が必要です。お問い合わせください。

### 5.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更

画面の表示パターン・表示秒数の設定変更ができます。

- 1. 表示関係設定メニューの画面切替をクリックして 自動画面切替画面を開きます。
- 2. 下表を参考に表示パターンを選択します。

1. 計測画面のみ	「計測画面」のみを表示します。
2. 計測画面 + 換算画面	「計測画面」と「換算画面」を切替表示します。
3. 任意設定	<ul> <li>表示する画面の種類とその順番・表示秒数を設定できます。</li> <li>●表示画面の選択 巡回表示させたい画面をプルダウンリストから選択します。 画面は最大 20 画面まで設定でき、1から順に画面が切り替わります。 </li> <li>●表示時間を画面毎に設定する場合 「等間隔切替」のチェックを外してから、表示させる画面の右側にある「切替間隔(秒)」に、秒数を半角数字で入力します。この場合、秒数は全ての画面に設定してください。 </li> <li>●表示時間を一律に設定する場合 「等間隔切替」にチェックを入れ、秒数を入力します。入力された秒数が、全ての画面に適用されます。</li></ul>

表示) 〇音 〇音	(ターン †測画面 †測画面 ±意設定	jのみ j+換算画面	等間源時間 ▼ 等間源切替 10 秒
※以7 ※等間	F設定は 那高チェ・	、任意設定選択時に減 ック時は、等間隔時間が   表示	<ul> <li>箇用されます。</li> <li>が適用されます。</li> <li>切替間隔(秒)</li> </ul>
1	S1	計測値表示画面	10
2	S2	換算値表示画面	10
3	G	本日電力量グラフ	10
4	S1	計測値表示画面	10
5	01	contents_01.jpg	10
6	S1	計測値表示画面	10
7	C2	contents_02.jpg	10
8	S1	計測値表示画面	10
9	C3	photo_01.jpg	10
10			
11			
	-		

3. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

### 5.4 コンテンツ画面の入替・追加

#### 「コンテンツ画面」の画像を、任意の画像に差し替えたり追加することができます(最大5枚)。

1. 表示させたい画像を準備します。

表示可能な画像:		
画像の種類:	JPEG 形式	
画像のサイズ:	1920 $ imes$ 1080 pixel	
ファイル名:	必ず半角英数字 (例 : 〇 <b>contents01</b> .jpg 拡張子は小文字 (例 : 〇 contents01. <b>jpg</b>	× コンテンツ 01.jpg) × contents01.JPG)

- 1. 付属の USB メモリに用意した画像ファイルをコピーします。
   ※ USB メモリの中に保存できる画像ファイルは、最大 5 ファイルまでです。
- 3. conf (または conf.exe) をダブルクリックし、設定ツール画面を開きます。
- 4. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 5. **画面数**のプルダウンで、表示させたい画像が 全部で何枚か選択します(最大 5 枚)。
- 表示させる画像を指定します。No.のプルダウンで 番号を選び、対応する画像を参照から選択します。
- 7. **OK** をクリックします。
- 表示関係設定メニューの画面切替をクリックし、
   「5.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更」(P.7)を 参考に、新しく加わったコンテンツを表示のプルダウン リストから選択して切替間隔(秒)を設定します。
- 変更を保存する場合は OK を、
   変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。







### 5.5 グラフ画面の変更



### グラフ画面の軸題と最大レンジを変更することができます。

グラフ画面サンプル

- 1. 表示関係設定メニューのグラフをクリックします。
- 軸題と最大レンジの変更が可能です。
   軸題は全角5文字以下で入力します。
   最大レンジはプルダウンより
   「5(kWh)」~「3000(kWh)」の中から、
   通常、設備容量より少し多い値を選択します。
- 3. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

### グラフ画面の表示/非表示を設定することができます。

- 1. 表示関係設定メニューの画面切替をクリックします。
- 2. 表示パターンの任意設定を選択します。
- 3. 本日電力量グラフを選択し、秒数を設定します。 ※グラフを非表示にしたい場合は表示のプルダウンで 空白を選択します。
- 4. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

7	
発電量グラフ 軸題	電力量
発電量 最大レンジ	10 • kWh
ок	Cancel

表示。 〇 計 〇 計 〇 印	バターン +測画面 +測画面 £意設定	iのみ i+換算画面	等間隔時間 ♥ 等間隔切替 10 秒	
※以 <sup>一</sup> ※等間	F設定は 鄒隔チェ・	、任意設定選択時に ック時は、等間隔時間 「表示	適用されます。 訪適用されます。 切替問隠(秒)	
1	S1	計測値表示画面	5	
2	S2	換管値表示画面	5	-
3	G	本日常力量グラフ	<b>▼</b> 5	
4	C1	THE REFERENCE	5	
5	C2	計測値表示画面 換質値表示画面	5	_
6	C3	本日電力量グラフ	5	
7	G	contents_05.jpg	5	
8	S2	photo_UI.jpg 換算値表示画面	5	
9	S1	計測値表示画面	5	
10	C2	contents_05.jpg	5	
11	C1	contents_04.jpg	5	
19				-
		OK	Cancel	

# 6 計測機器の設定変更

設定ツール画面の「計測関係設定」メニューでは、ZERO に接続する計測機器(パワーコンディショ ナやリモート I/O など)の設定内容の確認や変更を行うことができます。

### 6.1 計測機器の設定内容の確認

#### 設定ツール画面で確認することができます。

- 1. 「3 設定ツール画面の起動・終了」(P.3)を参照して、設定ツール画面を開きます。
- 2. 計測機器枠内に表示されている内容が、現在の設定内容です。



上図は RS-485 通信のパワーコンディショナが 1 台接続されている例です。 (DEMO の部分に選択したパワーコンディショナのメーカー名が表示されます)

### 6.2 計測機器の設定変更



- 1. 計測関係設定メニューの計測機器をクリックして計測機器画面を開きます。
- 2. 通信方式 (485/232C 通信タブ、または TCP/IP 通信タブのどちらか)を選択します。
- 3. 【485/232C 通信】 タブを選択した場合
  - ① 485/232C 通信で計測するにチェックを入れます。
  - ② 計測器のプルダウンメニューから接続するパワーコンディショナを選択します。
  - ③ 接続台数を選択します(最大接続台数は 30 台です)。
  - ④入力内容を確認し、問題がなければ OK をクリックします。
  - ⑤ 計測項目の変更や計測データの削除に関する確認画面が表示されますが、 どちらも **OK** をクリックして計測機器画面を閉じます。

警告 义		警告 <b>X</b>
計測項目が修正されます。変更してよろしいですか。	$\rightarrow$	計測設定を変更すると、これまでの計測データが削除されます。削除してよる しいですか。
OK         キャンセル		

計測機器画面(485/232C通信タブ選択中)

☑ 485/232C通信	言で計測する			
系統数	● 1系統	C 2系統	<b>c</b> 3系統	3
1系統目計測器	山洋電気(新	斤応答式)		台数1
2系統目計測器				] 台数 [
3系統目計測器			-	┃台数┃

「系統数」は自動でチェックが入ります。



### 【TCP/IP 通信】 タブを選択した場合

- ① TCP/IP 通信で計測するにチェックを入れます。
- ② 計測器のプルダウンメニューから接続するパワーコンディショナを選択します。
- ③ 接続台数を選択します(最大接続台数は 30 台です)。
- ④ 接続台数分の IP アドレスを入力します。
- ⑤入力内容を確認し、問題がなければ OK をクリックします。
- ⑥ 計測項目の変更や計測データの削除に関する確認画面が表示されますが、 全て **OK** をクリックして計測機器画面を閉じます。

警告         X	ſ			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
計測項目が修正されます。変更してよろしいですか。 -	$\rightarrow$	計測設定を変更すると、これまでの計測データが削除されます。削除してよろ しいですか。	<b>→</b>	TCP/IP通信の計測機器のIPアドレス設定を変更または削除します。よろしいで すか、
0K キャンセル		OK キャンセル	8	ОК <i>キャンセル</i>

計測機器画面 (TCP/IP 通信タブ選択中)



上図はパワーコンディショナ3台分の IP アドレスを入力した場合です。



本設定では、各パワーコンディショナ本体の IP アドレス設定を行うことはできません。 パワーコンディショナ本体の設定は、パワーコンディショナメーカーに確認の上、 パワーコンディショナ側で行ってください。 ZERO 本体のネットワーク設定については、次ページを参照してください。

# 7 ネットワークに関する設定

ZERO 本体のネットワークに関する設定内容の確認や変更を行うことができます。

CHECK!

パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、パワーコンディショナの ネットワーク設定との整合を確認しながら設定する必要があります。

### 7.1 有線 LAN の接<u>続設定</u>

- 1. ネットワーク設定メニューの本体をクリックします。
- 2. 有線 LAN タブで「有線 LAN を使用する」にチェックを入れ、接続方法を選択します(自動取得/固定)。
- 3. 2. で固定を選択した場合JP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを入力します。 ※ DNS サーバーの入力は任意です。
- 4. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

接続方法 ○ 自動取得	で 固定	
Pアドレス (例;192.168.1.111)	192.168.1.240	
サブネットマスク (例;255.255.255.0)	255.255.255.0	
デフォルト ゲートウェイ (例;192.168.1.1)	192.168.1.1	
DNSサーバー (例;192.168.1.1)	192.168.1.1	



・ 複数のネットワーク設定が有効になっている場合、先に接続された方法で通信します。

#### 【ネットワーク管理者の方へ】

下記のネットワーク情報をご準備ください。

ZERO 本体に割り振る情報	ZERO 本体が構内 LAN 接続に用いる情報
・IP アドレス (必須)	・サブネットマスク (必須) ・デフォルトゲートウェイ (任意) ・DNS サーバ (任意)
構内 LAN 内パソコンの Web ブラウザに IP アドレスを 入力して ZERO 本体にアクセスし、Web アプリ画面 を表示することができます。	現地のネットワーク状況に合わせてご用意ください。

### 7.2 無線 LAN の接続設定

- 1. ネットワーク設定メニューの本体をクリックします。
- 2. 無線 LAN タブで「無線 LAN を使用する」にチェックを入れ、接続方法を選択します(自動取得/固定)。
- 3. SSID、セキュリティ種類、暗号化種類、パスワードを入力します。
- 2. で固定を選択した場合JP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを入力します。
   ※ DNS サーバーの入力は任意です。
- 5. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

<ul> <li>接続方法</li> <li>○ 自動取得</li> </ul>	• 固定	]	
IPアドレス (例; 192.168.1.111)	192.168.1.103	SSID	Honsya1F
サブネットマスク (例;255.255.255.0)	255.255.255.0	セキュリティ種類	WPA2-PSK 💌
デフォルト ゲートウェイ (例; 192.168.1.1)	192.168.1.1	暗号化種類	AES
DNSサーバー (例;192.168.1.1)	192.168.1.1	パスワード	****



複数のネットワーク設定が有効になっている場合、先に接続された方法で通信します。

ſ	••••
L	
C	HECK!

※ 無線 LAN を使用する場合、推奨値として電波強度が「-45dBm」~「-71dBm」であれば、通信
 を安定して行うことができます(現地状況により、実際の通信状況は変動する可能性があります)。
 ⇒使用方法は付属の USB メモリ内の PDF ファイル「設定変更手順書」を参照してください。

#### 【ネットワーク管理者の方へ】

下記のネットワーク情報をご準備ください。

ZERO 本体に割り振る情報	ZERO 本体が構内 LAN 接続に用いる情報
・IP アドレス (必須)	<ul> <li>・サブネットマスク(必須)</li> <li>・デフォルトゲートウェイ(任意)</li> <li>・DNS サーバ(任意)</li> <li>・SSID(必須)</li> <li>・セキュリティ種類(必須)</li> <li>・暗号化種類(必須)</li> <li>・パスワード(必須)</li> </ul>
構内 LAN 内パソコンの Web ブラウザに IP アドレスを 入力して ZERO 本体にアクセスし、Web アプリ画面 を表示することができます。	現地のネットワーク状況に合わせてご用意ください。

## 7.3 3G 回線の設定画面

- 1. ネットワーク設定メニューの本体をクリックします。
- 2. 3G 回線タブをクリックすると、3G 回線の設定状況を確認することができます。

► 信動取得	て固定		
Pアドレス (例;192.168.1.111)		1211ED	test@bizm.ne.jp
サブネットマスク (例;255.255.255.0)		認証パスワード	*****
デフォルト ゲートウェイ (例;192.168.1.1)		接続先	test.ntt.com
DNSサ <i>ーバー</i> (例;192.168.1.1)			



出荷時に設定を行っています。3G回線タブの設定は変更しないでください。

# 8 設定用パスワードの変更

Web アプリ機能(※1)で時計合わせを行う際に使用するパスワードを変更します。 (初期パスワード:「admin」)

- 1. その他設定メニューのその他をクリックします。
- 2. 設定用パスワードを、任意の文字列に変更します(半角英数字)。
- 3. 変更を保存する場合は **OK** を、 変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

バスワー	- ド設定		
設定用	シュワード	admin	
Back II			

※1)Web ブラウザを使用して計測データなどの閲覧ができる機能。付属の USB メモリ内の PDF ファイル「Web アプリケーション」参照。

## 9 蓄電池情報の表示

蓄電池に関する設定は、ZERO 本体と直接接続されている HDMI 出力のディスプレイのみに反映されます。

#### 9.1 蓄電池表示

蓄電池システムが接続されている場合に、蓄電池の情報(出力電力と残量)をディスプレイに表示 させたり、計測データ(対象ファイルは日報・月報・年報・年度報の4種類)に追加することがで きます。蓄電池の情報がある場合とない場合の画面や、計測データの項目については別紙:「取扱説 明書」をご確認ください。

- 1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 著電池表示にチェックを入れると蓄電池表示機能が有効になります。
   無効にする場合は蓄電池表示のチェックを外します。
   ※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
- 3. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。



蓄電池表示機能が有効になっている状態



#### 9.2 蓄電池定格容量

蓄電池表示を有効にした場合は、蓄電池残量を正しく計測するために、蓄電池の定格容量を設定す る必要があります。パワーコンディショナ毎に設定が必要です。

※このメニューは蓄電池表示機能を有効にしている場合のみ表示されます。

- 1. 表示関係設定メニューの蓄電池定格容量をクリックします。
- 一番上の欄がパワーコンディショナ1台目です。
   1台目から順に蓄電池の定格容量を入力します。
   ※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
- 3. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

1	14.9
2	14.9
3	14.9
4	
5	

# 著作権について

本ソフトウェア、取扱説明書など弊社作成物の著作権は株式会社ラプラス・システムに帰属します。 株式会社ラプラス・システムの許可なく、内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、 著作権法上、禁止されております。

## お問い合わせ先

# 株式会社 ラプラス・システム

# お電話でのお問い合わせ

TEL: 075-634-8073

お問い合わせはコールセンターまで

# 弊社 HP からのお問い合わせ

http://www.lapsys.co.jp/

「お問い合わせ」フォームをご利用ください

・Microsoft, Windows, Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

- その他、本説明書で登場するシステム名、製品名、ブラウザ名、サービス名は、各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- ・本説明書中では TM、R マークは明記していません。
- 本説明書の内容を無断で転載することを禁じます。
- ・本説明書の内容は改良のため予告なく変更される場合があります。

Laplace · System

株式会社 ラプラス・システム 〒 612-8083 京都市伏見区 京町 1-245 TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832